



# そよかせ

令和6年9月2日

東京都立小金井特別支援学校

校長 中島 雄佑

担当 宮本 優衣

今年も猛暑日が続く、暑い暑い夏休みでした。皆様はどんな夏休みを過ごされましたか？今号の「そよかせ」では、夏休み期間中、本校で行った取り組みや活動についてお伝えします。

## さくらんぼ教室（7月24日）

年中・年長児を対象とした体験教室を3回に分けて実施しました。昨年より1回ごとの定員を増やしてより多くの方に御参加いただけるようにしましたが、今年度も定員を上回る申し込みをいただきました。

さくらんぼ教室では、はじまりの会、リトミック、パラバルーン、手遊び、見る聞く活動等を本校の教員と一緒に体験します。保護者の皆様には廊下から見学していただきました。初めての場所に緊張が見られるお子さん、教員との関わり遊びを楽しむお子さんと様々でしたが、本校の環境や活動を知っていただくよい機会となりました。



## 支援機関見学会（7月25日）

本校教員が地域の関係機関と連携を図り、児童・生徒の地域での生活について理解を深めるため、武蔵野市にある、児童発達支援事業「千川おひさま幼児教室」と放課後等デイサービス「ウィングむさしの」を見学しました。就学前施設での活動の様子や学校以外の場での過ごし方を知ることで、児童・生徒の新たな一面を知ることができ、今後の取り組みにもつながります。

保護者や職員の皆様、他の関係機関の方と学校が、お子さんの支援について情報共有し、支援方法を相談する会議を実施することもできます。御相談がありましたら、担任又は特別支援教育コーディネーターまで御連絡ください。

## 副籍交流（直接交流）打ち合わせ

今年度、新たに副籍交流を始める小学部1年生や転入生、新しい学校での交流がスタートとなる中学部1年生は、夏休みを中心に副籍交流の打ち合わせを行い、2学期以降に直接交流を行います。1学期は、まずは本校での生活に慣れてもらうためです。

打ち合わせでは、自己紹介をした後、直接交流ではどんな授業や活動に参加しやすいか、どれくらいの頻度で行うか（学期に1回程度が多いです）を、交流校の先生と一緒に相談しながら決めていきます。本校のお子さんにとっても、相手校にとっても無理のない範囲で行い、相手を知り、回数を重ねていくことで、互いの理解が深まっていくことを期待しています。

御相談は、電話 042-384-6881、ファクシミリ 042-382-8543

特別支援教育コーディネーターまでお気軽にお問合せください。